

令和5年度 祖父江小学校学校運営協議会 第1回会議の報告

令和5年5月18日(木) 9:30～11:30 校長室
(12名出席 1名欠席)

1 会長あいさつ

- ・ コロナ5類に移行したことに伴い、子どもたちのマスクの着用は、どのように変化しているのだろうか。学校の対応にも注視していきたい。
- ・ 地域学校協働活動については、稲沢市としても推進本部が立ち上げられた。

2 授業参観

- ・ 低学年の方が、マスクを外している児童が多く、高学年の方がマスクをつけている傾向。担任の先生が外しているのは、子どもたちのマスクを外すきっかけになる。
- ・ コロナ前の授業風景が戻ってきたように感じる。

3 協議事項

(1) 教育活動・施設・設備・予算について

- ・ 南校舎のトイレの洋式化を進めてほしい。
- ・ 市内の学校間で、教育環境(校舎の新しい学校と校舎が古く修繕が追いつかない学校)に差がある。
- ・ 修繕等の執行に当たって、相見積もりをとるとよい。
- ・ 現在も取り組んでいるが、保護者宛に配付するプリントはできる限り長子配付にするとよい。
- ・ 持久走記録会は、地域の方も楽しみにしているし、安全確保のためのボランティアもたくさんの方に協力してもらっている。ぜひとも、校庭の外で実施してもらいたい。

(2) 地域学校協働活動の推進について

【本年度、具体的に予定している活動】

- ・ 登下校の見守り：あいさつ運動(毎月10日頃)、防犯あいさつ運動(毎月20日頃)
- ・ 交通安全教室：5/12(金) 地域のボランティアの方、保護者も参加(登校時の)
- ・ 資源回収：年4回 4/24(月)、7/31(月)、11/27(月)、2/26(月)
- ・ サンドアート体験(なかよしふれあいデー)：5/2(火)
- ・ 親子ふれあい活動：6/3(土) 除草作業、レクリエーション(親児の会・PTA)
- ・ 運動会・地区運動会：9/29(金)準備、9/30(土)地区運動会(午後)、片付け(体育振興会)
- ・ 三世代ふれあいグランドゴルフ：10月(4年生、保護者、さくらGGC)
- ・ 地域清掃活動：10/24(火)下校後、集合場所で活動(防犯あいさつ運動も兼ねる)
- ・ 三世代ふれあいもちつき大会：2/27(火)(まちづくり推進協議会)
- ・ おわカレー会：3月(親児の会・PTA)
- ・ 稲沢フルーツ園見学(4年生)：5/15(月)
- ・ セーフティープラスワン：「読み聞かせ」(月2回)、「絵画・工作教室」
- ・ 各学年の体験活動

【お願いしたいこと】

- ・ 環境整備(樹木伐採・草刈り・側溝の泥上げなど)
- ・ セーフティープラスワンの活動の補助

【委員の方のご意見】

- ・ サンドアートは、子どもたちにとって、とても楽しく貴重な体験である。祖父江緑地公園など、祖父江小学校ならではの素材を生かしたい。
- ・ 様々な活動を地域の人に広報することが大切である。

- ・ 町たんけん等は、民生児童委員で協力していきたい。
- ・ 側溝の泥上げは、年1回くらい計画するとよい。
- ・ 環境整備は、まちづくり推進協議会、体育振興会、親児の会などみんなで取り組みたい。
- ・ 地区運動会は、町中の人気が集まれる機会になるとよい。
- ・ 地域の子どもは地域で育てるという意識で、みんながよかったと思える活動をしていきたい。特に、保護者の参加をどう増やしていくかが大切である。
- ・ 祖父江小学校は、地域の方と関わる活動が充実している。学校を核として、地域のかかわりも強くしていけるとよい。

(3) その他

- ・ 教頭を窓口として、学校支援ボランティア（祖小っ子応援団）を常時募集している。
 - チラシを作成し、新聞の折り込みに入れてもらう。（加藤新聞店に依頼）
 - 「学校だより」にも掲載して募集する。

4 意見交流 『どんな地域・学校にしたい？』

○ どんな地域にしたいか

- ・ 行事に、町の人が気楽に集まれる場であるとよい。
- ・ 学校のイベントであり、地域のイベントである行事であるとよい。
- ・ 学校を核として、地域のつながりを強めていけるとよい。
- ・ 小さい学校のよさを出すためにも、人と人とのつながりを増やすことが大切である。
- ・ 子どもたちに感謝の気持ちをもたせることで、地域をよりよくしていくことにつなげたい。

○ どんな学校にしたいか（期待すること）

- ・ 主体性のある子を育てる。人との関わりを大切にする子を育てる。
- ・ 地域と連携した活動を通して、子どもたちを育てていきたい。

5 校長あいさつ

- ・ 「地域とともにある学校」を目指して、学校と関わってもらう機会を増やしていきたい。また、子どもを通して人と人とのつながりを強くしたい。
- ・ 「笑顔あふれる学校」を目指しているが、地域の方や保護者の方と一緒に、子どもたちにとって、楽しい活動を用意したい。また、それが持続可能なものになるようにしていきたい。
- ・ 10年後、20年後、30年後を見据えて、子どもたちに将来の地域づくりを意識させたい。子どもの頃の楽しかった記憶が、将来、地域のために活動する力になることを期待している。